

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 28 日

枚方市長 殿



提出者
住 所
氏 名

大阪府枚方市牧野阪1丁目4番5号

株式会社 平野組

代表取締役 平野 秀雄

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

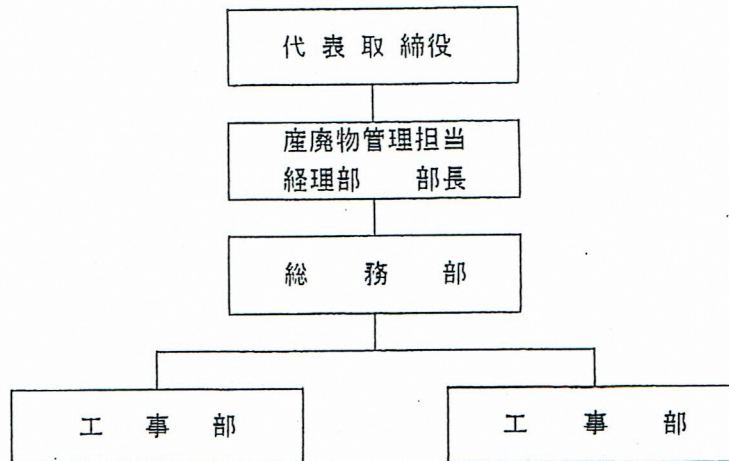
電話番号 072-857-2421

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 平野組
事業場の所在地	大阪府枚方市牧野阪1丁目4番5号
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06総合工事業
②事業の規模	10,686万円
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 がれき類＝再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 木くず＝再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 建設系混合廃棄物＝中間処理業者にて選別後再資源化 道路舗装工事 アスファルト破片、コンクリート破片＝再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	0.200 t	1.600 t
	（これまでに実施した取組） プレカット等の発注により木くずの低減・梱包材の低減及び分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	1 t	1 t
	（今後実施する予定の取組） 上記同様		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリート破片、アスファルト破片他のがれき類の分別 有価物と産業廃棄物の分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に加え建設系混合廃棄物についても可能な限り分別を実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
1.002 t	1.400 t	676.000 t	6.000 t

②計画

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
1 t	1 t	600 t	5 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
584.800 t	1.800 t	11.200 t	t

②計画

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
500 t	2 t	10 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

②計画

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

②計画

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	0.200 t	1.600 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.200 t	1.600 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による 委託契約を実施している		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
1.002 t	1.400 t	676.000 t	6.000 t
t	t	t	t
1.002 t	1.400 t	676.000 t	6.000 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

②計画

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
584.800 t	1.800 t	11.200 t	t
t	t	t	t
584.800 t	1.800 t	11.200 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	1 t	1 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1 t	1 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する		
※事務処理欄			

②計画

ガラスくず等	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
1 t	1 t	600 t	5 t
t	t	t	t
1 t	1 t	600 t	5 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	
500 t	2 t	10 t	t
t	t	t	t
500 t	2 t	10 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t